

令和7年度学校経営の改革方針

学 校 名	津市立久居東中学校	校長名	野口 和規
児童・生徒数	4 5 6 名	学級数	2 0 学級
		教職員数	3 6 名

1 めざす学校像

- 【学校教育目標】 「自ら主体的に学び、行動する」
「ともに高め合い、鍛え合う」
「自他を大切にし、愛(いつく)しむ」 } 生徒の育成
- ◎ スローガン 「あいがあふれる学校」
- ・ 明るく心のこもった挨拶のある学校
 - ・ いじめをしない・させない、愛のある学校
 - ・ 地域に信頼され愛される、安心・安全な開かれた学校 を目指す。

2 現状と課題

本校は、立成・桃園小学校区と高茶屋小学校区の一部を校区としている。保護者や地域の人々の教育に関する関心は高く、学習面や部活動面への期待が大きい。多くの生徒は基本的な生活習慣が身につけており、学習意欲も高い。学校生活も全体的に穏やかであるが、友だち関係に関する状況の把握に努め、いじめ等の早期発見と適切な対応が必要になっている。また、自ら課題を設定し主体的・積極的に物事に挑戦し学びを深めたり、進んで自分の考えや意見を発表したりする力は十分とは言えない。また、不登校・不登校傾向にある生徒や家庭生活に課題のある生徒、心理的な不安を抱える生徒が増えている。スクールカウンセラーや関係諸機関との連携を深め、校内教育支援センターを効果的に活用して、生徒理解を深め、個に応じたきめ細かな指導をすることが求められる。

3 重点目標

- (1) 確かな学力と豊かな心、健やかに生きる身体を育成する学校づくり
- (2) 生徒の笑顔があふれる学校づくり
- (3) 地域に開かれ、信頼される学校づくり
- (4) 教職員が働きがいのある（やりがいをもって教育活動に取り組む）学校づくり

4 具体的な行動計画

- (1) 学習指導要領への的確な対応と学ぶ力の育成に向け、指導力・授業力の向上に努める。
 - ① 「主体的・対話的で深い学び」を提供できるよう、生徒が自ら課題を発見し課題解決できる教材の開発や学習活動の在り方を研究し、実践する。
 - ② 教育活動及び家庭学習の充実に向け、家庭と連携した取組を進める。
 - ③ 『東中タイム』の効果的な活用を図り、基礎学力の定着と読書活動を推進する。
 - ④ 校区内小学校、幼稚園等と連携し、小中一貫教育ネクスト事業を推進する。
- (2) 全ての生徒の自己指導力を育む「積極的・予防的な指導」を目指す。
 - ① 全生徒を対象に、教育相談週間（学期1回）を設定し、生徒理解を深める。
 - ② 生徒指導委員会・特別支援教育委員会の定例化及び学年や分掌間の連携により、共通理解に基づく指導を推進する。
 - ③ 不登校傾向がある生徒や、課題を有する生徒について、職員間で共通理解を進めるとともに、スクールカウンセラーや関係機関との連携を深め、校内教育支援センターを効果的に活用した取組を推進する。
 - ④ 保護者との連携を促進する。
- (3) 特別の教科道徳及び人権教育の充実を図る。
- (4) 進路指導やキャリア教育の充実を図る。
- (5) 生徒会活動や部活動の充実・活性化に努める。
- (6) 組織力の向上を図る。
 - ① 校内研修を月1回開催し、職員研修を計画的に進める。
 - ② 学年会、教科会、分掌会などを活用し、共通理解のもとに取組を進める。
 - ③ 全職員との面談で教職員の思い等を把握するとともに、一人ひとりが意欲とやりがいをもって教育活動を行うことができるように努める。
- (7) 学校運営協議会・学校評価により、教育活動の検証と改善を行う。
- (8) 安全・安心な学校づくりに努める。
- (9) 教職員の勤務実態および職場環境の改善に努める。